



**「出港前報告制度」の導入に係る NACCS センターとサービス・プロバイダー  
「イーフレイト社 (E-Freight Technology, Inc)」との接続契約の締結について**

平成 25 年 7 月 12 日 (金)、輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社 (以下、「NACCS センター」という。) とサービス・プロバイダーのイーフレイト社 (E-Freight Technology, Inc) (本社：米国・ロサンゼルス) は、我が国で平成 26 年 3 月からの導入が予定されている「出港前報告制度」に関し、当該制度の報告義務者である海外の船会社及び利用運送事業者 (NVOCC) が NACCS を用い、海外から日本国税関に対し電子的に報告を行う仕組みを整備するため、NACCS とサービス・プロバイダーのシステムを接続することについて、接続契約を締結いたしましたので、お知らせします。

NACCS センターは、日本向けコンテナ貨物が船積みされる海外の主要港に拠点を置くサービス・プロバイダーとの連携を重視し、接続契約を実現してきましたが、北米で最大の日本向けコンテナ貨物取扱量を有するロサンゼルス・ロングビーチ港地区に本社を置くサービス・プロバイダーとの契約は、今回が初めてとなります。

NACCS センターにおいては、イーフレイト社を含め、合計 14 社 (海外 12 社、日本 2 社) との間で、海外からの電子的報告を行う仕組みを整備するための協力体制を構築しています。

---

■本件に関するお問合せ先： 輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社  
〒212-0013 川崎市幸区堀川町 580 番地 ソリッドスクエア西館 8 階  
担当：企画部 (神例・荒巻)  
E-mail: [afr-c@naccs.jp](mailto:afr-c@naccs.jp)

■NACCS センターは、「出港前報告制度掲示板」を開設し、同制度に関する全ての情報を一括して掲載しております。同掲示板には、当該制度の運用に関する情報のほか、サービス・プロバイダーとの接続契約の締結状況、世界主要都市における現地説明会の開催情報等についても掲載しておりますので、ご参照ください。

<http://www.naccscenter.com/afr/indexj.html>

# サービス・プロバイダー契約の締結について

## 1. イーフレイト社の概要

イーフレイト社は、EFT-eCargo という航空輸出入、海上輸出入、国内輸送、統計、経理、振り込み、台帳業務を何百もの形式で提供する国際輸送とフォワーダー向けの製品貨物輸送管理ソフトとともに 1999 年に設立されました。

2000 年には米国税関が AES DIRECT（自動輸出システム）を開始しました。イーフレイト社は AES DIRECT リンクサイトで認定された最初のソフトウェアベンダーです。

過去 14 年間で、イーフレイト社は米国から多くの国へとサービスを拡大しました。2004 年には上海事務所、2010 年には台北事務所、2011 年にはマレーシア事務所を設立しています。

## 2. イーフレイト社 (E-freight technology, inc)

### チェン・マ (Chen Ma) 代表取締役社長メッセージ

日本の出港前報告制度に関し、NACCS と認定サービス・プロバイダー契約を締結したことについて、ご報告できることを大変嬉しく思います。

セキュリティ・コンプライアンスがその大部分を占めるロジスティクス・ソリューションを顧客へ完全な形で提供することを目指すイーフレイト社にとって、今回の機会は大変喜ばしいことです。これは世界的傾向であり、日本の 24 時間前報告制度導入に多くの国が続くと強く信じています。

10 年以上に渡り数々の国内外の顧客と行ってきたコンサルティングに基づき、イーフレイト社は最新の技術をロジスティクス・ソフトウェアに適用し、国際輸送、国際貿易、ロジスティクスビジネスに完璧な IT ソリューションを提供しています。これには、貨物輸送管理、PO 管理、SCM、税関報告を統合した一連の製品も含まれます。

2000 年には米国税関から弊社の貨物輸送管理から AES（自動輸出システム）への直接リンクをソフトウェアベンダーとして初めて認定されました。以来、顧客の円滑な国際税関規制への対応、報告ミスの最小化、EDI 使用の最大化と質のいいデータを ACE (AMS)、ACI、ISF 報告に提供する手助けに大きな役割を担ってきました。この役割を、日本出港前報告制度でも引き続き果たせると確信しています。